播磨小学校 蓮池幼稚園 校長 平郡 秀幸 園長 冨山 智子

知・徳・体の調和のとれた児童の育成 ~はりまっ子一人一人を大切に「する・みる・支え合う」播磨小に~

はじめに

本校では今年度も上記の教育目標を掲げ、~はりまっ子一人一人を大切に「する・みる・支え合う」播磨小~ をスローガンに子どもに寄り添い、向き合いながら「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を培い、『生きる力』 の基盤づくりに努めて参りました。

子どもたちが毎日いきいきと生活できる学校、教職員がやりがいを感じて職務を遂行できる学校、地域に愛さ れる学校を日指して取り組んでいます。

本年度の主な取り組みと成果

はりまっ子の一員であることを自覚し、何事にも一生懸命に「する」、また、 他のはりまっ子の頑張っている姿をしっかりと「みる」、そして、はりまっ子同 士が「支え合う」学校生活を送ることができるよう、はりまっ子一人ひとりを大 切にした教育に取り組んで参りました。また、PTA活動や地域活動にも全教職 員が関わり、地域コミュニティーの重要な役割を肌で感じることができました。

近年、本校の教員は一気に若返りましたが、授業力や指導力など教師力のさらなる向上を目指し、研鑚を重ね、 職員間の協力体制のもと、学校力を高めていきたいと思います。

また、子どもたちは「あいさつで笑顔の花をとどけよう」をスローガンに、毎朝元気に笑顔で登校し、あいさ つを交わし、よりよい学校にしていこうという気風が育ち、1日の学校生活を終え下校していく子どもたちの後 ろ姿に、限りない可能性を感じます。

おわりに

保護者並びに地域の皆さま、そして播磨町行政をはじめ各種関係機関の皆さま方には、本校の教育推進と環境 整備にご尽力いただき、心より感謝いたします。今後も変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。

蓮池小学校 校長 水野 洋子

未来を拓く子どもたちの豊かな人間力の育成 ~子どもたち一人ひとりの幸せを願って~

はじめに

本年度は、~子どもたち一人ひとりの幸せを願って~を教育目標の根底 にかかげ、目の前の子どもを大切に、誠意をもって教育を行うよう、教職 員が一丸となって取り組んで参りました。

本年度の主な取り組みと成果

言語活動を通し、さらなる学習指導・教育活動の充実

「説明する理数教育」をテーマとし、子どもたちの説明力の向上に取り 組みました。研究発表会や公開授業を通して、教員の授業力向上を積み重ねています。この言語能力の向上は、 すべての学習の基盤となるものです。算数・理科を中心に他教科でも取り組み、根拠をもとに自分の考えがし っかり説明できる子、友達の意見と自分の考えを比べながらしっかりと聞ける子の育成に努めました。

また、表現の基礎・基本として、学校での教育活動全般を通して、言葉を大切にする土台作りに取り組みました。 同時に、話し合いを支える「しっかり聞く集団」「あたたかく受け取める集団」作りを進めました。

学校・家庭・地域の連携の充実

子どもたちの生き生きした学校生活を保護者の皆さまや地域の方々に見ていただく機会の工夫として、学校 HPの更新や配布物の充実を図りました。

今年度も、『開かれた学校』として、多くの皆さまに学習活動の支援としてご協力をいただきました。「多種 多様な学習支援ボランティア」「灯(ほ)足(た)るの会」「なでしこの会」「シニアクラブによるゲストティー チャー」など、子どもたちの健やかな成長に多くのお力添えをいただき、見ていただくことが子どもたちにも 大きな励みになっています。また、日々「登下校の見守り」をしていただくことで、子どもたちは、安全でよ り良い教育環境の中で学校生活を送ることができました。

おわりに

0

これからも、「地域の中の学校」を意識し、保護者の皆さま、地域の皆さまに愛される学校であるよう努力して まいります。今後も、皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

充実した遊びから 豊かな学びへ ~学びや育ちにつながる教師の援助や 環境構成のあり方を考える~

はじめに

幼児は、遊びの中で様々な人と関わりながら、今、必要な経験をたくさんしています。

今年度は、幼児が遊びの中で経験していることが、どんな学びや育ちにつながっているのかを探ってきました。 また、どんな教師の援助が幼児一人ひとりに応じているのか、どんな環境構成をすることが充実した遊びにつなり がるのか、ということを考え、日々の保育に取り組んできました。

本年度の主な取り組みと成果

- ・個々の興味や関心を探りながら、試したり考えたり挑戦したりできる環境を工夫することで、やってみたいな、 もっとやってみたいという気持ちが育ってきました
- ・自然とふれあうチャンスを逃さず、丁寧に関わることで豊かに 感じる心や不思議に思う気持ちなどが育ってきました
- ・"幼児期の終わりまでに育ってほしい姿"を意識してかかわって きたことで、幼児の経験していることがどんな学びにつながっ ているのかが明確になり、次に必要な環境構成や教師の援助が 見えてきました

おわりに

今後も、幼児の遊びが豊かな学びへとつながるように教師の援 助や環境構成を考え、日々の保育に取り組んでいきたいと思いま す。これからも、ご支援やご協力をよろしくお願いいたします。



園長 木村 詳司

つながる 深まる 広がる

はじめに

今年度は、保育の中枢である遊びの中での学びに焦点をあて保育一つひとつの意味を考えながら教育活動を進 めていきました。また、西幼稚園の強みを最大限に生かして、西幼稚園だからこそできること、西幼稚園でしか できないことを子どもたちに体験させることにも努めました。

本年度の主な取り組みと成果

播磨西幼稚園

- ・園だよりやドキュメンテーションを通じて園児のタイムリーな様子を積極的にお知らせしました
- ・小学校の施設をお借りしたり、行事で交流したりして就学時のスムーズな接続に努めました
- ・なかよし家族(縦割り小集団)の活動を随所に取り入れ、コミュニケーションを図り共に学びあえる場を設定 しました
- ・シニアクラブや絵本ボランティアの方々をはじめ地域の皆さま、小中学生など様々な人とのふれあいの機会を 積極的にもち、温かい思いやりの気持ちを育てることに努めました
- ・積極的な園内研修を行って、教師としての専門性を磨き、幼児一人ひとりの発達や学びに生かせるよう保育内 容の充実を図りました

おわりに

保護者の皆さま、地域の皆さまにはいつもご理解とご協力を賜 りほんとうにありがとうございます。また各関係機関の皆さまに も様々なところでお力添えをいただき、厚くお礼申しあげます。 おかげさまで平成30年度も終わりますが、今後ともどうぞよろ しくお願いいたします。



広報はりま 31.3

播磨中学校 校長 奥野 耕太郎

校訓「明朗・自治・創造」の実現を目指して

はじめに

明朗・1年生らしく元気に朗らかに学校生活を送る

自治・2年生は社会性を身につけ集団生活を確立する

創造・3年生は自分の進路を切り開く力をつける

一人ひとりの成長を手助けできるよう学校全体で取り組んできました。



本年度の主な取り組みと成果

信頼関係を基本とした学習指導と生徒指導の充実

- 「生徒のいるところに教師有り」のもと、多くの時間を生徒と共有することで、人間関係づくりに取り組みま
- ・「オープンスクール教師版」を定期的に行い全教師で全校生を見守りました
- ・「あ (挨拶)・ひ (人の話を聞く)・る (ルールを守る)」を推奨しました
- ・「協同学習」を取り入れ自ら学ぶ生徒の育成に取り組みました
- このような取り組みを推進することにより、基本的生活習慣が確立し落ち着いた状態で授業ができています。 また問題行動の早期発見、早期対応にも取り組みました。

家庭・地域社会・関係機関との連携

ホームページを充実させ情報を発信するとともにPTA活動を推進し、学校行事を通して生徒の様子を保護 者や地域の方々に見ていただく学校公開の機会を充実させました。また、生徒たちは、福祉教育や救急法など を学習する機会を持ち、各関係機関の皆さまから専門的な知識・技能を得ることができました。

おわりに

保護者の皆さま並びに地域の方々には学校行事や学習活動、また登下校の見守りなどの様々な場面でお世話に なりました。心より感謝いたします。今後とも、皆さまのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

播磨南中学校

校長 藤原 正純

社会的自立を目指し、未来に向かって主体的に生きる力の育成 ~ 南中の"あ・ひ・る"を大切に~

はじめに

「南中の"あ・ひ・る"を大切に育てていこう」を全校生の合言葉に、 「生徒のいるところに教師あり」を全職員の基本姿勢に、全校生が 気持ちよく学校生活を送れるように尽力しています。

本年度の主な取り組みと成果

学習指導の充実

生徒が主体的に取り組めるような授業改善に努めており、落ち 着いた中で授業が行われています。また、課題である家庭学習の 定着にも「家庭学習の手引き」を作成するなどして取り組んでお り、少しずつ成果が表れています。



生徒会活動・学級会活動の充実

生徒会は、スローガン「あなたの意識で 笑顔あふれる南中を」を校舎に掲げ、全校生が気持ちよく学校生 活を送れるように取り組んできました。また、集団生活や様々な行事を通し、生徒たちはたくさんのことを学 んでいます。それぞれの個性を認め、尊重し合えるような学級・学年・学校づくりを継続していきます。

"あ・ひ・る"の励行

"あひる"の『あ』をたえず意識し、生徒会は毎朝校門であいさつ運動を展開しました。各学期はじめには P TA役員の方々にも参加していただき、あいさつをする習慣が定着してきました。また、『ひ』人の話を素直に 聴くことや、『る』ルールを守ることの大切さもしっかりと理解できるようになっています。

おわりに

「地域の中の学校」を意識し、今後とも生徒・教職員・保護者が一丸となって、南中の発展を目指します。今後 とも地域の皆さまのご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

播磨西小学校

校長中島

夢かがやき ともに学びをきりひらく 心豊かな西っ子の育成

はじめに

本校では、上記の教育目標を掲げ、基礎的・基本的な知識や技能の定着と主体的に取り組む学習態度、また、豊 かな心と困難にくじけない健康な体を備えた真の「生きる力」を育成するよう取り組んできました。西小学校が子 どもたちの夢を育て、夢をかなえる力を育むことができる場となるよう日々の教育活動の充実に努めています。

本年度の主な取り組みと成果

学習指導の充実

基礎的な学力と学習習慣の定着を図るため、毎朝の「のびのびタイム」で、 計算・視写・音読・読書に取り組んだり、週に1回「西小放課後学習タイム」 を実施したりしています。また、全ての学習の基盤である言語能力を育成 することをねらいとして、国語科の研究を進めています。その結果、自ら 進んで学習に取り組める子、対話の中で友だちと自分の考えを比べながら 聞き、自分の考えや思いを進んで表現できる子が増えてきました。さらに、 授業研究を通して教師の指導力の向上を図ることもできました。



児童会活動と学校行事の充実

「伝え合い 協力し合い 高め合い 愛であふれる西小に!」をスローガンに、児童会が中心となって、楽しく、 みんなが気持ちよく過ごすことのできる西小づくりに取り組みました。また、「自分たちにもできる」復興支援 として、集めたベルマークで陸前高田市の中学校に必要な物品を選んで購入してもらうという活動に取り組み、 被災地の方々との交流を深めることができました。さらに、運動会や音楽会、自然学校、修学旅行などの学校 行事での学びをふだんの学校生活へとつなげ、広げることができました。

おわりに

保護者の皆さま並びに地域の方々には学校行事や学習活動、また登下校の見守りなどの様々な場面でお世話に なりました。心より感謝いたします。今後とも、皆さまのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

播磨南小学校 治 校長中西

学校大好き 笑顔あふれる南小!

はじめに

本年度は、学校教育目標達成のため、「自分の思いを伝え、語れる子」「自 分や友達を大切にし、支え合える子|「笑顔あふれる子」の3つを目指す 子ども像として掲げ、取り組んでまいりました。



本年度の主な取り組みと成果

朝学習として、1時間目が始まるまでの8時30分から50分までの20分 間の前半を曜日毎に読書・音読タイム、後半を曜日毎に漢字学習、計算練

習の時間にあて、表現力と基礎学力の向上を目指しました。また、給食後13時からの10分間を読書タイムとして、 読書量の向上を図りました。その成果として読書好きの子が増え、いろいろなジャンルの本や長文の本を読むこ とができるようになっています。また、学期の終わりには、音読集会を設け、日頃の音読の成果を学年ごとに発

夏休みには家庭にも協力をいただいて、1・2年生は自由課題として、3年生以上は必須の課題として「図書 館を使った調べる学習コンクール」の作品作りをしました。おかげさまで、今年度も町長賞をはじめ、多数の作 品が入選し、本校の伝統・特色として定着してきました。

児童会活動では、児童集会において全校生の前で委員会、学年や学級の代表として、自分や自分たちの思いを 自分の言葉で、聞く人の心に届く話し方ができるように取り組んでまいりました。そして、各教科での発表や児 童会活動の集大成として、6年生が卒業式でそれぞれの思いを語ります。

今年度は、従来のクラブ活動に代えて、地域の方々のご協力をうけて、4・5・6年生が各セミナーに分かれ て活動するセミナー活動を前期、後期の2回実施しました。来年度以降も、地域の方の支援を受けつつ、子ども 達の笑顔とパワーを地域に広げられたらと思います。

おわりに

今後も学校教育目標の実現に向けて取り組みを進めてまいります。本年度の成果も保護者や地域の皆さま、教 職員でがっちりと協力できた結果であり、大変感謝しています。今後もご支援のほどよろしくお願いいたします。

広報はりま 31.3

0

広報はりま 31.3